

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	奈良市家庭教育支援チーム (呼称:大宮放課後子ども教室・キッズおおみや)
②活動拠点	奈良市立大宮小学校
③活動範囲	奈良市立大宮小学校区
④組織体制	<u>13 人</u> 地域教育協議会地域コーディネーター、社会福祉協議会理事長 民生委員児童委員、校長、PTA 会長、学校運営協議会委員 など
⑤活動開始年度	2007 年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 代表・矢本 亜矢 (TEL)080-2401-7326 (E-mail) kidsoomiya0038@gmail.com

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ☐ アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) { ☐自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) ☐ その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	☐ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☐ 中学生 ☐ 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 ・「おんどく朝ごはん」 学校のある月曜日に、大宮小学校内の教室にて朝ごはんを提供し、音読をしてから登校をする。学期ごとに参加申し込みを募り 30～40 人の参加がある。家庭で孤食にならないよう、学校で楽しく朝ごはんを食べるという活動に保護者からも支持を得ている。 朝早い時間ということもあり、高齢スタッフが多く参加しているが、小学生との交流を楽しみにしてくれている。 ・校庭開放 週 1 回放課後に、約 1 時間半校庭を開放し自由に遊んでいる。学校周辺にはボールを使って思いっきり遊べる公園が少なく、頻繁に近隣住民から小学校へ苦情が入る現状を鑑みて、週 1 回の頻度で実施している。放課後児童クラブ(バンビーホーム)の児童も含め、毎回 150 人ほどの児童が参加している。校庭開放スタッフには保護者からの参加も多い。 ・ドッジボール教室 年2～3回 ・走り方教室 年1回 ・ハロウィンイベントでの模擬店運営 年 1 回 ・校外学習(鹿寄せや平城宮跡など) 年 1 回 ・ラジオ体操8日間 ・防災・防犯教室 年 1 回 など 上記の単発活動については、主に月 1 回土曜日を利用して実施している。保護者にも参加を呼びかけ、家族で参加する家庭も多い。体験格差をなくすことや保護者間の交流も目的としている。 ・ラジオ体操 8日間 夏休みの最終8日間を使って、小学校の運動場でラジオ体操を実施している。夏休みから2学期が始まるまでの生活リズムを戻していくことを目的としている。校長先生も参加し、毎日 100 名ほどの子どもたちが参加する。6 時半～7時に実施しているため、出勤前の保護者と一緒に参加する児童も多い。
④活動の成果 (活動実績がある場合)	奈良市大宮小学校区の児童と保護者を対象に、普段学校では体験できないような活動を企画し参加していただいている。このような活動に参加してもらうことで、児童の体験格差がなくなればと考えている。 小学校で活動することで、保護者も安心して参加できていると感じる。継続して活動に参加しスタッフと顔見知りになることで、ふとした時に相談をもちかけられることもある。
⑤活動財源 (複数チェック可能)	☒ 文部科学省補助事業(事業名:放課後子ども教室推進事業) ☐ 文部科学省委託事業(事業名:) ☐ 厚生労働省事業(事業名:) ☐ 地方公共団体単独事業として実施 ☐ 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)

	☐ その他の支援により活動を実施 ()
--	--